

写

全県盟宛 H24-103 号(J)
平成24年12月21日

ボーイスカウト都道府県連盟
理事長 各位
県連盟コミッショナー 各位
事務局 長 各位
派遣団 長 各位

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 木村 公一

**第16回日本ジャンボリー（16NJ）/第30回APRスカウトジャンボリー（30APRSJ）
に関する追加情報と協力依頼について**

標記に関しまして、これまでの16NJ実行委員会・部長会議における協議に基づき、下記のとおり、大会の追加情報をお知らせしますので、ご対応くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 16NJ派遣団長会議（第2回）と説明会等の開催について

派遣団長会議（第2回）については、平成25年6月に都内で開催することで調整しています。

また、次の日程で派遣団提供プログラム説明会、ジャンボリーデリバリーチームへの現地説明会ならびに県連盟派遣団現地視察会を開催いたします。それぞれ詳細については改めてご連絡いたしますが、ご予定くださいますようお願いいたします。

（1）県連盟派遣団提供プログラム説明会

日時：平成25年3月24日（日）
場所：東京・ボーイスカウト会館
対象：県連盟派遣団本部プログラム担当者

（2）JDTへの現地説明会

日時：平成25年4月20日（土）16：00～21日（日）12：00
場所：山口県セミナーパーク、きらら浜
対象：JDT登録者
経費：参加費1人5千円（セミナーパーク1泊2食、きらら浜への移動）
自宅から新山口駅までの往復交通費は自己負担

（3）県連盟派遣団現地視察会

日時：平成25年4月21日（日）09：00～12：00 この間で現地視察
*21日16時から18時までのJDT現地説明会へ希望があれば出席可能、
場所：山口県阿知須きらら浜（現地集合・現地解散）
対象：県連盟で現地視察を希望する派遣団関係者
経費：参加費は徴収しない（日本連盟で案内を行う）
宿泊、移動、食事等は県連盟手配、必要な経費は全額県連盟派遣団負担

2. 参加隊の準備訓練実施について

7月の派遣団長でご説明いたしました「準備訓練に対する留意事項」について、「別紙：1」のとおりご連絡いたしますので、準備訓練実施に際してご留意くださいますようお願いいたします。

3. 成人サブキャンプの宿泊テントについて

成人サブキャンプでの宿泊テントについて、「別紙：2」のとおりご連絡いたしますので、県連盟派遣団の対応についてご回答くださいますようお願いいたします（平成25年2月末日回答締め切り）。

4. APR（ワールド）スカウトセンター設置方針について

派遣団本部機能に加えて、各国・各県それぞれのスカウト活動を紹介する展示コーナーを設けるAPR（ワールド）スカウトセンターについて、「別紙：3」のとおり設置方針がまとまりましたのでお知らせします。

5. ホスト参加者について

16NJ基本実施要領で示した、到着ポイントでの外国派遣団の出迎えと見送り、場外プログラムの運営、大会期間前後の準備・片付け等に協力するホスト参加者について、「別紙：4」のとおり概要がまとまりましたのでお知らせします。

6. 特別ゲストとスカウトゲストについて

16NJ基本実施要領で示した「特別ゲスト」、および県連盟の役員や関係者を対象とした「スカウトゲスト」について、「別紙：5と6」のとおり概要がまとまりましたのでお知らせします。

7. デイビジター（見学者）について

デイビジター（見学者）について、「別紙：6」のとおり概要がまとまりましたのでお知らせします。今後、ブリテンやホームページ等を通じて情報提供を行いながら、来年4月頃よりWEBを通じた事前予約を開始いたしますので、今後の情報にご留意ください。

8. 本文書の同封物

別紙1：第16回日本ジャンボリー（16NJ）参加隊「準備訓練に対する留意事項」

別紙2：第16回日本ジャンボリー（16NJ）成人サブキャンプ（SC）の宿泊テントについて

別紙3：第16回日本ジャンボリー（16NJ）APR（ワールド）スカウトセンター設置方針について

別紙4：第16回日本ジャンボリー（16NJ）ホスト参加者について

別紙5：第16回日本ジャンボリー 特別ゲスト（Special Guest）の対応について

別紙6：第16回日本ジャンボリー スカウトゲスト（Scout Guest）について

別紙7：第16回日本ジャンボリー（16NJ）デイビジター（見学者）について

以 上

この件に関するお問い合わせ：

事務局23WSJオフィス

Tel: 03-5805-2569 Fax: 03-5805-2908 E-mail: 16nj@scout.or.jp

第16回日本ジャンボリー（16NJ）参加隊「準備訓練に対する留意事項」

2012年11月18日 16NJ 実行委員会承認

第16回日本ジャンボリー（16NJ）は、県連盟派遣団として参加することになります。参加スカウトへの事前準備訓練は、県連盟派遣団単位で実施していただくこととなりますが、実施にあたり、平成24年7月に開催の派遣団長会議でお知らせした以下の事項について、改めてご留意くださるようお願いいたします。

1. 班編成について

参加隊は、4班で編成され1班は9人としています。

1班9人の構成は、参加隊指導者の方々と協議して決めると共に、可能であれば参加スカウト、特に隊の運営の中軸となるベンチャースカウトの意向を考慮して編成することが望ましいと思われまふ。出来るだけ同じ団からの参加者は、日頃のコミュニケーションの面からも同じ班にすることが望まれます。

1班の年齢構成は、異年齢教育を推進しており、23WSJでも同様の編成となることから、ボーイ年代とベンチャー年代の混成にすることが好ましいと言えます。班は、ジャンボリーの全ての活動単位となるものですので、その編成には充分な配慮が必要です。

準備訓練では、この班が効果的にパトロールシステムを発揮できるように展開することが重要でふ。その為の仕掛け、ゲームや対班競技などを取り入れることも必要でふし、班内の役割分担も、スカウトの個性と資質に応じて班内で充分に協議して決めることが必要でふ。

ジャンボリーの参加隊は、各団からの混成による隊とは言えスカウト運動の基本に忠実に取り組む必要がありまふ。

指導者の皆さんの的確な指導と助言が必要でふ。

班編成が出来たら出発までの間、班内のコミュニケーションが円滑にいくようにするための工夫が必要でふ。県連盟によっては、随時集まることが困難な場合もあるでしょうから、携帯電話等の活用で遠隔地においても常時連絡がとれるような仕組みを作ることが必要でふ。

また、可能であれば保護者の皆さんとの懇談の場を設けて、高額な参加費用を負担して頂く訳ですから、ジャンボリーの意義は勿論のこと、スカウト運動全体が各スカウトの成長のために役立つものであることを、充分に理解して頂くことが必要でふ。

このことは、基本的に各団が実施すべきことですが、約10日間もの間、スカウトの身体、生命等を預ける指導者がどのような人物であるかを知ってもらうことも必要なこととふ。

そして、班の生活、運営は班長が進めることとふので、班長の指導力や班員の掌握と言う面でも、班長会議や班長訓練を実施することも、活動単位としての班のパトロールシステムを円滑に発揮するために重要なこととふので、時を捉えて実施していく必要がありまふ。

2. 班の炊事および燃料について

今回のジャンボリーでは、炊事はカセットコンロを使用して行いまふ。カセットコンロを通常のキャンプでは使用していないケースが多いと思われまふが、カセットコンロの利便性や危険性について、事前に充分な学習が必要でふ。操作は簡単でふがガスボンベの取り扱いや保管方法により事故が発生する可能性があります。

また、炊事中の炊事具の転倒等によるやけども過去のジャンボリーでは数件発生していまふ。コンロおよび炊事具を安定した地面および台に置く工夫が必要でふ。

炊事は、班炊事を基本としていまふ。パトロールシステムを高揚させる良い機会とふので準備訓練では、ジャンボリーのメニューを参考にして料理コンテストなどを実施することも効果的でふ。

また、炊事に伴うゴミの処理の仕方とか、排水処理の仕方、食材を効果的に活用する方法、食料の保管方法、炊事具の収納方法、食器の管理等についても、可能な限り実践的な創意工夫を実施することが望まれます。

キャンプにおいて食事は楽しみの重要な一つとふです。楽しいジャンボリーであるかは、食事を楽しく食べられるかも重要なポイントとふです。事前訓練の必要性もこの点にもありまふ。

3. 生活規律について

ジャンボリーは、日本ではかつてはお祭だといわれた時代がありまふ。楽しくワイワイ騒ぐことが当たり前

のように思われていましたが、世界スカウト機構（WOSM）はジャンボリーがスカウトにとって教育プログラムの場であると世界イベントガイドラインに指針を示しています。ここ数十年間の世界スカウトジャンボリーは、如何に教育的であるかを常に検証して準備から開催まで進んできています。

今回は、プレジャンボリーですが、教育プログラムであることは間違いないことですので、ジャンボリーでの生活規律は、必要な条件です。

規律と言うと、厳しくすることのように考えがちですが、そもそもスカウトである以上、生活規律を自主的に守り、規則正しくキャンプ生活を送ることが基本です。このことは、多くの事例が示すように、また創始者が繰り返し述べているように、指導者の姿勢に大きく影響されるものです。

規律正しいキャンプ生活は、指導者の実践に始まり指導者の実践に終わるといっても過言ではありません。

点検、朝礼、活動にふさわしい服装の着用、サイト内の整理整頓、挨拶、等々は、まず指導者が示し、それをスカウトが実践することによって成り立ちます。

厳しくすることではなく、おのずと自主的にキャンプ生活を自己管理できるように示唆していくことが、指導者の役割です。

準備訓練では、初めてのメンバーとの顔合わせから始まり、ジャンボリーに向けての共同体験のスタートですので、指導者の方々の取り組み姿勢が肝心となります。

また、炊事と同様、「同じ釜の飯を食う」との日本の古い言葉があるように、共同体験の中での食事の重要性も、充分には配慮することが求められます。

15NJでは、近隣の住民の方々から「夜にスカウトや大人がうろろうろ歩いている」「道路に平気でゴミを捨てている」「夜中まで騒いでいる」等の指摘がありました。

スカウトとしては、とても耐え難いことですが、指摘を率直に受け止める必要があります。このことは、ごく少数のことかもしれませんが、住民の方々からそのようにみられていることは、真摯に受け止めなければなりません。

まずもって、スカウトとしての自覚と責任ある行動が求められ、社会も一般の方々も、そして保護者の方々も、そのことを期待していることを再確認する必要があります。

4. スカウトの掌握について

15NJでは、緊急帰宅希望者が6人おりました。具体的には、自宅まで行き着いたスカウトが1人、東京駅で補導されたスカウトが1人、その他周辺の方々の協力で会場周辺で発見されたスカウトが4人です。年代的には、小学生のスカウトはゼロで、中学生以上のスカウトです。従って、キャンプに慣れていないことが要因とは考えにくいのです。

この状況は、今後も想定されるものと考えなければなりません。いつ、どの様に、どうして、原因は、と考察すると様々な要因が考えられますが、最終的には、隊内のコミュニケーション不足に集約されます。

今回、準備訓練に対する留意事項を提示するきっかけは、このことにあります。

準備段階からの、スカウト同士、スカウトと指導者、指導者同士等の円滑なコミュニケーションがもたれているのです。

企業等でよく言われる、報告・連絡・相談のフレーズは、スカウト運動にも適合するものです。連盟歌にもある「耳そばだてて」聞くことが必要です。

また、直近の話題として「いじめ」がありますが、スカウトのキャンプでも起こりうることであり、ジャンボリーのように普段の交流が少ない仲間の中では、要因として配慮する必要があります。

スカウトにとっては楽しいはずのジャンボリーが、何かのきっかけで、逃げ出したくなる、音信不通になることは、必ず人間関係のゆがみが要因と考えるのが妥当と思います。

今回は、前回の経験を踏まえて対応を検討していますが、まずは、参加隊指導者の皆さんが、準備訓練の段階からスカウトをよく観察され、指導者間の連携を深めて、的確に対応されるようお願い致します。

最後に、ジャンボリーに参加したスカウトの多くは、たとえスカウトを止めた後でも思い出に残る体験であったという感想を持つ方が大勢います。今回のジャンボリーを通じて、スカウトにとって、人生の思い出に残る良い体験となるよう、指導者の皆さんの、ご尽力を宜しくお願い致します。

以上

第16回日本ジャンボリー（16NJ）成人サブキャンプ（SC）の宿泊テントについて

1. 成人サブキャンプについて

大会運営スタッフ（国際サービスチーム員（IST）、ジャンボリー・デリバリー・チーム（JDT）等、派遣団本部員）は、成人サブキャンプで生活し、県連盟派遣団ごとにサイトを割り当てることにしました。

成人サブキャンプは、高校生年代のISTと19歳以上のISTの2つの地域に分かれ、それぞれ県連盟派遣団単位で人数に応じた区画が提供され、テントで宿泊することになります。高校生年代のISTについては、ヒューマンリソース部に配属される引率指導者により管理されます。

成人サブキャンプの区画は、参加者のサブキャンプ同様、1区画40人で500㎡（25m×20m）が提供されます。40人に満たない派遣団は、複数の派遣団で区画を利用して人数に応じた面積となります。

県連盟派遣団は、その範囲内でテントを設営することになります。

2. テントについて

16NJ実行委員会では、これまで前回の15NJで成人サブキャンプの張り方の反省を踏まえ、16NJの成人サブキャンプは、統一した規格のテントで宿泊できるよう業者レンタルによるマーキテントの有償展張貸与を前提に検討を進めてきましたが、宿泊テントを持参したい、あるいは、安価なテントのレンタルを求める意見があり、日本連盟としては、次のとおり県連盟が選択できるよう提示することとしました。

1. 業者レンタルマーキーの展張貸与（業者で設営・撤去）
2. 業者マーキーのレンタル（自身で設営・撤営）
3. スカウト用品扱いテントの買い取り（自身で設営・撤営）
4. スカウト用品扱いテントのレンタル（自身で設営・撤営）
5. テントの持参（自身で設営・撤営）

成人サブキャンプは、大会本部、本部食堂、派遣団本部等に近く、また、参加者のサブキャンプと離れていることから条件が整っていますが、運動グラウンドで、水はけを良くするために地面から深さ30cm前後に排水暗渠が入っています。このため、今回案内の指定されたマーキーあるいはパイプテント以外は、ペグで暗渠を破損してしまう可能性があります。万一破損した場合は、数千万円の補償が求められます。

テントを持参する場合は、使用するペグは20cm以内で、出来るだけドームテントで対応してください。運動会テント等マーキー型テントを持参する場合は、スカウト用品売店で販売する指定ペグを使用するか、テントウエイト（水・砂タンク等の重り）等で対応してください。

3. 希望調査・申し込みについて

成人サブキャンプのテントについて、県連盟派遣団ごとの対応およびテントのレンタル・買い取りの申し込みを次のとおり行います。

- レンタル・買い取りテントの詳細については、別紙を参照してください。
- 申込者は、県連盟派遣団本部を対象とします。参加隊は対象外です。
- 用途は「成人サブキャンプでの宿泊用に使用する」ことに限定し、派遣団提供プログラム等への利用はできません。
- 回答締め切り 平成25年2月末日
- 入金締め切り 平成25年3月末日（確定申し込みと合わせて送金してください）

(回答締切：平成25年2月末日)
返送先：日本連盟事務局23WSJオフィス
Fax: 03-5805-2908 e-mail: 16nj@scout.or.jp

平成25年 月 日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
事務局長 木村公一行

ボーイスカウト_____連盟

理事長_____印

16NJ成人サブキャンプの宿泊テントについて (回答)

先に連絡のあった標記の件について、次のとおり回答いたします。

1. 宿泊予定人数について

参加区分	男性	女性	計	備考
派遣団本部要員	人	人	人	
I S T (19歳以上)	人	人	人	
I S T (高校生年代)	人	人	人	
計	人	人	人	

※参加の区分により、テントの対応が異なる場合には、備考欄にご記入ください。

2. 宿泊テントについて

派遣団で持参する

種類	大きさ・利用人数	数量	備考
		張	
		張	

エンタープライズの商品を申し込む

種類	単価 (税込み)	数量	金額
メッシュシェルター (購入)	37,000円	張	
メッシュシェルター (レンタル)	20,000円	張	
コンパクトキャンプベット	2,500円	台	
FDコットDX	5,000円	台	

業者のレンタルテントを申し込む

種類	単価 (税込み)	数量	金額
マーキーの展張貸与 (業者で設営・撤去)	79,000円	張	円
マーキーのレンタル (自身で設営・撤営)	39,000円	張	円

ボーイスカウトエンタープライズの取り扱い

1. 宿泊用テント

テントの種類：メッシュシェルター（スノーピーク製 TP-920）

- 特徴：-
- ボーイスカウトエンタープライズが16NJ特別価格で販売します（通常販売価格 59,800 円）
 - 買い取りの場合には、参加者が指定場所からテントを購入・設営し、撤収後は持ち帰る
 - レンタルの場合には、参加者が指定場所からテントを借用・設営し、撤収時は指定場所に返却
 - 耐水圧3000mm（台風等の大雨でも浸水しない）
 - ドームテントなので軽量で設営が少人数で可能
 - 床がないのでベッド等が必要
 - 大会期間中のテントの不具合については、スカウト用品売店で対応
 - 23WSJのレンタルテント、ジャムホテル使用予定テントと同タイプ



サイズ：幅4.3m×長さ4.0m×高さ2.1m * 3人～4人用

金額：①テントの買い取り（自身で設営・撤営）
1張りあたり37,000円（税込み）

②テントのレンタル（自身で設営・撤営）
1張りあたり20,000円（税込み）

2. ベッド類（いずれも買い取り）

(1) コンパクトキャンプベット（ロゴス製）

サイズ：182cm×61cm×16.5cm

16NJ特別提供価格：
1台あたり、2,500円（税込み）



(2) FDコットDX（ロゴス製）

サイズ：190cm×65cm×42cm

16NJ特別提供価格：
1台あたり、5,000円（税込み）



レンタル業者による取り扱い

1. 業者レンタルマーキーの展張貸与（業者で設営・撤去）

テントの種類：ミニフレックス型

特 徴：- 横幕がカーテン式になっているので、開閉が容易
- 台風等強風を考慮したアルミ部材を使用
- 床がないのでベッド等が必要
- 大会期間中のテントの不具合については、レンタル業者がメンテナンスを行う

サイズ：幅4.0m×長さ6.0m×軒高さ2.2m *4人～6人用

金額：1張りあたり79,000円（税込み）



2. 業者マーキーのレンタル（自身で設営・撤営）

テントの種類：パイプテント（運動会テント）

特 徴：- 台風等強風を考慮してパイプは太い物を使用
- 参加者が指定場所からテントを借用・設営し、撤収時は指定場所に返却
- 床がないのでベッド等が必要
- 大会期間中のテントの不具合については、レンタル業者がメンテナンスを行う

サイズ：幅3.6m×長さ5.4m×軒高さ2.1m *4人～6人用

金額：1張りあたり39,000円（税込み）



第16回日本ジャンボリー（16NJ）
APR（ワールド）スカウトセンター設置方針について

2012年11月15日現在

1. 内容

各国・各県連盟派遣団本部として派遣団単位でブースが設置される。各派遣団は、派遣団本部機能に加えて、各国・各県の紹介と、それぞれのスカウト活動を紹介する展示コーナーを設ける。中心には世界スカウト機構アジア太平洋地域のブースが設置される。

参加者およびデイビジターは、世界各国、日本全国を知るプログラムの一部として各ブースをまわることが出来る。

センターの運営は、派遣団サポート部を中心に、場内プログラム部が行う。

各派遣団本部の運営サポートとして、ビジネスセンターを設置する。

2. 設置場所

山口きらら博記念公園「多目的ドーム」内のフィールドに設置する。

ビジネスセンターは、「多目的ドーム」内のフィールド、セミナールーム等への設置を調整する。

3. 設置期間・時間

派遣団本部機能：平成25年8月30日（火）9時～8月7日（水）21時

派遣団展示ブース：平成25年8月1日（木）9時～8月7日（水）18時

*多目的ドームの利用可能時間は9時から22時まで

4. ブースの規格（調整中）

基本ブースは、コの字型で各幅2m、高さ2.4mにパイプ椅子2脚とテーブル1台を標準とし、派遣団の規模によって無償で提供できるサイズを定める（割当サイズは今後連絡）。

無償提供分を超えたブース設置を希望する場合は、有償で対応する（金額は今後発表）。

小規模の派遣団に対しては、複数で1ブースを共有することがある。

5. 経費

平成24年12月末日までに業者見積を検討し、全体の設置規模を定めるとともに、各派遣団の有償追加希望に対する金額設定を行う。

以上

第16回日本ジャンボリー（16NJ）ホスト参加者について

2012年11月18日 16NJ実行委員会承認

16NJ基本実施要領の「参加カテゴリー・参加資格」に示される「ホスト参加者」の記載に「日本連盟は、30APRS Jおよび23WS Jのホスト国連盟として加盟員を対象に、到着ポイントでの外国派遣団の出迎えと見送り、場外プログラムの運営、大会期間前後の準備・片付等に協力する準参加者（仮称：ホスト参加者）について別途定める」としている。

このことについて、参加区分「ホスト参加者」を次のとおり定める。

1. 対象者

- (1) 開会式時点で18歳以上のボーイスカウト日本連盟の加盟員とする。
- (2) 引率体制が整う場合は、開会式時点で16歳以上のベンチャースカウトの参加を認める。
- (3) 大会参加者はホスト参加者とはならない。

2. 任務と場所

- (1) 場外で実施するプログラムで、実施地（山口県内および広島市内）で大会参加者を受け入れ、プログラムを展開あるいはサポートするスタッフ
- (2) 到着ポイント（福岡空港、山口宇部空港、新山口駅）等において、外国派遣団等の参加者の出迎え、見送り、案内等を行うスタッフ
- (3) 主会場または場外で大会前後の準備、あるいは片付け等に協力するスタッフ

3. 期間

- (1) 任務別に大会が定める期間の1日あるいは複数日
- (2) 本人の希望とホスト参加者を依頼する部署で調整

4. 参加費

ホスト参加者の参加費は、奉仕日数に関係なく、1人 4,000円とする。
（ホスト参加者の識別用支給品等の実費）

5. 参加費に含まれるもの・含まれないもの

参加章ワッペン（200円）、ネッカチーフ（700円）、キャップ（1000円）、Tシャツ（1500円）、名札一式（300円）、資料および送料（300円）等

原則として、奉仕地までの交通、食事、宿泊は、参加費に含まれていないため、自己負担とする。ただし、任務によりこの限りではなく、別途大会より条件が提示される。

6. 申込み

所属の県連盟を通じて、指定された方法で申し込む。

7. その他

ホスト参加者は、別に手続きすることなく、希望により主会場を訪問することが出来る。ボーイスカウト日本連盟の加盟員以外の協力については、別途「協力者」として定める。

以上

第16回日本ジャンボリー 特別ゲスト (Special Guest) の対応について

2012年11月18日 16NJ実行委員会承認

国家元首、党首、特別な政府高官、国会議員、国を代表する大臣や大使、スカウト運動に協力が期待できる著名人、世界および地域スカウト委員長等をAPR、各国連盟、都道府県連盟との調整により招待する。

特別ゲストに対しては、大会の説明や会場案内、食事、レセプションといった一連のプログラムを提供する。

特別ゲストの対象とならない一般的なゲスト（来賓）については、スカウトゲストに準じた接遇を行う。

1. 概要（案）

対象者：①国家元首、党首、特別な政府高官、国会議員、国を代表する大臣や大使

②著名人

③世界および地域スカウト委員長等

④開催地の行政関係者等（県知事、県議会議員、県教育長、市長、市議会議員、市教育長等）

⑤協力者・支援者等（スポンサー等の協賛企業、友好団体、宗教関係者等）

※④と⑤は日本連盟で調整する

招待日時：大会のプログラム実施日・時間帯

8月1日（木）～8月6日（火）の9時～17時の間

8月7日（水）は、9時から閉会式終了まで

2. 事前登録

各国・県連盟の派遣団からの推薦により、日本連盟から本人宛に招待状を送る

〈スケジュール〉

2月 ブリテン2号にて派遣団に通知、推薦名簿の受付開始

5月末日 派遣団からの推薦名簿の受付締め切り

6月中旬 調整のうえ、本人宛に招待状を発送

7月中旬 本人からの回答締め切り、必要に応じて本人・派遣団へ直前情報の連絡

〈必要情報例〉

● 入場希望日

● 特別ゲスト個人情報（氏名、所属、年齢、性別、連絡先等）

外国派遣団の場合には、パスポートNo、到着ポイント、利用航空便等も

● 同伴者等の有無

● 駐車場利用希望（普通車・大型車の別、台数）

3. 経費と配付物

(1) 掛かる経費と料金

入場料・駐車料金等は無償とする。

レセプションを除き、会場内での食事については自己負担を原則とする。

(2) 配付物

識別物：IDカード、ネッカチーフ、大会内容のわかるパンフレット等

第16回日本ジャンボリー スカウトゲスト (Scout Guest) について

2012年11月18日 16NJ実行委員会で承認

スカウトゲストは、WOSM・APR・各国連盟・県連盟の役員・関係者を対象とし、事前登録により会場に訪れることができる。スカウトゲストは事前登録を行い、会場で到着受付後、招待した国・県連盟の派遣団が責任を持って接遇と対応を行う。

1. スカウトゲストの対象

WOSM・APR・各国連盟・県連盟の役員および関係者

2. 入場可能日

大会のプログラム実施日・時間帯を基本に、最大3日(2泊)まで受け入れる
8月1日(木)～8月7日(水) 毎日9時～17時の間に受付・退場手続き

3. 入場範囲

参加者と同様に場内各所への入場が可能であり、事前登録に応じた本部食堂の利用や、成人サブキャンプでのキャンプを認める。

4. 事前登録

各国・県連盟の派遣団を通じた事前登録を行い、入場料を納入する。

〈必要情報例〉

- 入場希望日
- スカウトゲスト個人情報(氏名、所属、年齢、性別、連絡先等)
外国派遣団の場合には、パスポートNo、到着ポイント、利用航空便等も
- 駐車場利用希望(普通車・大型車の別、台数)

〈事前登録時期〉

- 2月 ブリテン2号にて派遣団に通知、事前登録開始
- 5月末日 事前登録締め切り
- 6月末日頃 入金締め切り
- 7月前半頃 必要に応じて派遣団へ直前情報の連絡

5. 経費

(1) 掛かる経費と料金

- ① 入場料: 一人一日あたり5,000円
入場料に含まれるもの
 - ゲストの識別物・配付物(ネッカチーフ、IDカード、ハンドブック等)
 - 本部食堂での食事(3食)
 - 場内駐車場の利用
- ② 宿泊料
宿泊用テントは各派遣団で用意
場外のホテルまたはセミナーパーク等を利用する場合には別途申し込み

以上

第16回日本ジャンボリー（16NJ）デイビジター（見学者）について

2012年11月18日 16NJ実行委員会で承認

見学者へ大会の活動の一部を体験する機会を提供することで、より多くの人たちへスカウト運動と大会の意義を共有する。

1. デイビジター（見学者）の対象・人数

加盟員に限らず広く一般からの見学を歓迎する。

駐車場の確保や会場内の混雑を避けるために一日最大5,000人、期間中を通じてのべ20,000人程度を予定する（15NJ実績：一日最大5,100人、のべ14,455人）。

2. 見学日程

大会のプログラム実施時間帯（09:00～17:00）を基本に、場外プログラムバス発着等の混雑を避けた時間設定を行う。

〈見学時間・駐車場時間例〉

日程	見学時間	見学者駐車場	プログラム・全体行事
8月1日(木)	14:00～17:00	13:00～18:00	開会式(午後)
8月2日(金)	10:00～17:00	09:00～18:00	プログラム(モジュール)
8月3日(土)	10:00～17:00	09:00～18:00	プログラム(モジュール)
8月4日(日)	10:00～17:00	09:00～18:00	プログラム・全体行事(午後)
8月5日(月)	10:00～17:00	09:00～18:00	プログラム(モジュール)
8月6日(火)	10:00～17:00	09:00～18:00	プログラム(モジュール)
8月7日(水)	16:00～20:00	15:00～21:00	閉会式(夕方または夜間)

3. 見学内容・入場範囲

これまでのWSJで行われている大会運営スタッフによるグループごとの見学者案内を予定する。

案内を行うことにより、デイビジターへ大会のテーマや各プログラムを説明することで、大会の意義やスカウト運動へ深い理解が得られ、また、見学可能な場所や順路が明確になり、混雑・集中が避けられる。

サブキャンプは入場出来ないが、スカウト関係者で所属隊の参加者がいる場合に限り、本人の案内により、配属されたサブキャンプの広場まで入場できる。

会場区分	見学内容
きらら博記念公園	大会記念品等を扱うスカウト用品売店、地元物産品等を扱う一般売店、軽食や弁当等を扱う一般食堂が設置予定
プラザ(仮称)	
APR(ワールド)スカウトセンター	各国・各県のスカウト活動の紹介
信仰奨励	各教宗派による展示・体験活動
アリーナ	場内プログラム実施日は、デイビジターショー 8月1日(木) 開会式(午後) 8月4日(日) 宗教儀礼(午前)・全体行事(午後) 8月7日(水) 閉会式(夕方または夜間)
サブキャンプエリア	参加者が引率する場合に限り、サブキャンプ広場まで入場
駐車場地域	見学者のための駐車場を用意する 普通車500台・大型車100台 (15NJ実績一日最大普通車434台・大型車104台) 受付のためのウェルカムセンター(仮称)は参加者用を共用

4. 事前予約

車両誘導、受付・案内、プログラム体験等の業務体制を予め整えるために、日程別の事前予約を行い、見学予定人数・車両台数等を把握する。

WEBを通じた日程別の事前予約とクレジットカードによる入場料の支払いを行う。WEBによる支払いが出来ない場合、見学料の事前入金を依頼する。複数日の見学を希望する際には、日程別に複数回の予約を必要とする。1日の上限人数に達した日程は、事前予約を終了し、残りの日程のみ継続して受け付ける。事前予約を原則とするが、上限人数に達していない日程については、当日受付を行う。

〈必要情報例〉

- 見学希望日
- 予約代表者（氏名、所属、連絡先等）
- 見学人数（可能であれば、加盟員・非加盟員の別、年代、性別等）
- 駐車場利用希望（普通車・中型車・大型車の別、台数）

〈事前予約時期〉

平成25年はじめにホームページ等により見学に関する情報提供を開始

4月頃より 事前予約を開始

6月中旬頃 申し込み締め切り

6月末日頃 入金締め切り

7月前半頃 必要に応じて見学予定者に直前情報の連絡

5. デイビジター入場料

(1) 掛かる経費と料金

① 入場料

デイビジターに掛かる経費に基づき、一人あたりの見学料を高校生以上は1,500円、中学生以下は1,000円とする（未就学児は無料）。

〈掛かる経費例〉 見学者識別物、デイビジターガイドブック、見学者休憩所等

② 駐車料金

駐車場に掛かる経費に基づき一台あたりの駐車料金を設定する。

普通車=¥2,000-、マイクロバス・小型バス（11～29人）=¥3,500-、大型車=¥5,000-

〈掛かる経費例〉 バスステッカー、駐車券、車両誘導の警備員等

(2) 配付物

会場での受付時に必要な物品・資料等を配付する。

デイビジター識別物：日程別の識別のできるバッジ、リストバンド等

デイビジターガイドブック：大会概要、会場図、大会プログラム・スカウト運動の紹介、諸注意

※協賛・協力者等の広告について要検討

6. 斡旋

(1) 宿泊

旅行代理店もしくは旅館業組合・観光協会等を窓口とした宿泊施設の斡旋を依頼する。

(2) 最寄り交通機関からのアクセス

JR新山口駅や山口宇部空港等の主要交通機関からの臨時バスの運行を、バス会社へ依頼する。

以 上